

第2章 下関市の現状

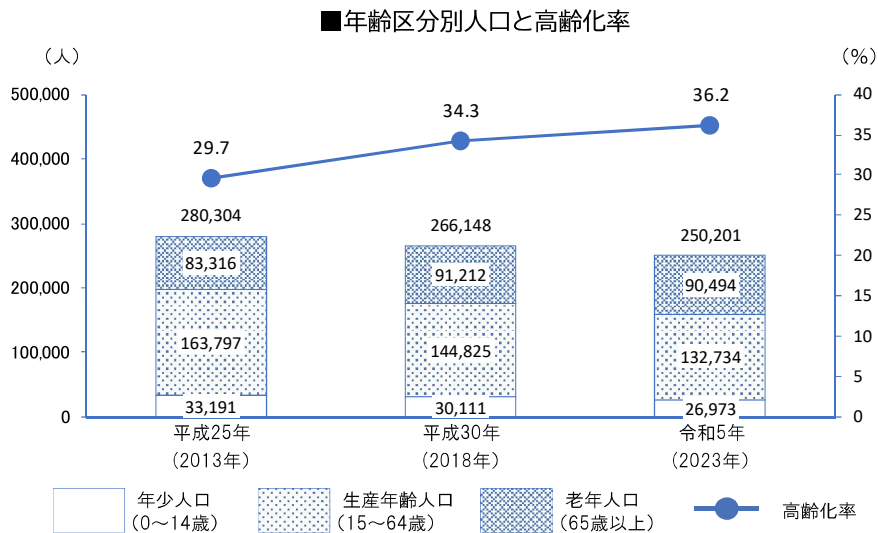
1 人口・世帯の状況

(1) 人口の状況

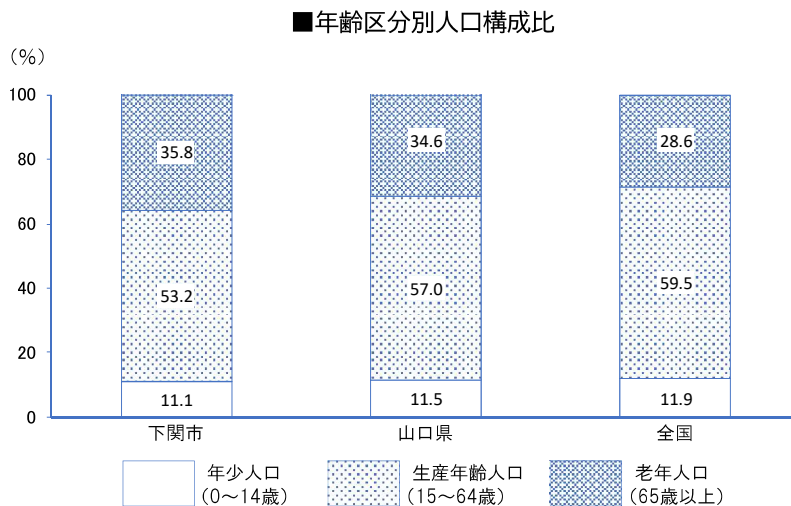
ア. 年齢区分別人口と高齢化率

令和5年と平成25年を比較すると、老年人口は7,178人増となっています。一方、年少人口は6,218人減、生産年齢人口は31,063人減となっています。変化率で見ると、年少人口の減少率が18.7%、生産年齢人口の減少率が19.0%となっており、老年人口は8.6%の増加率となっています。

下関市は、年少人口と生産年齢人口の構成比が山口県と全国に比べ低く、老年人口の構成比が高くなっています。



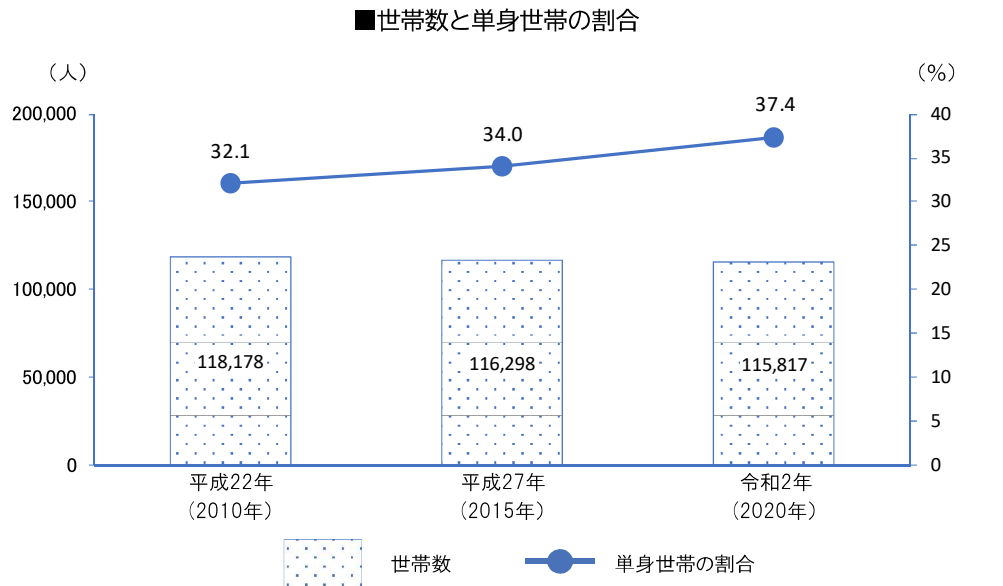
イ. 年齢区分別人口構成比



(2) 世帯の状況

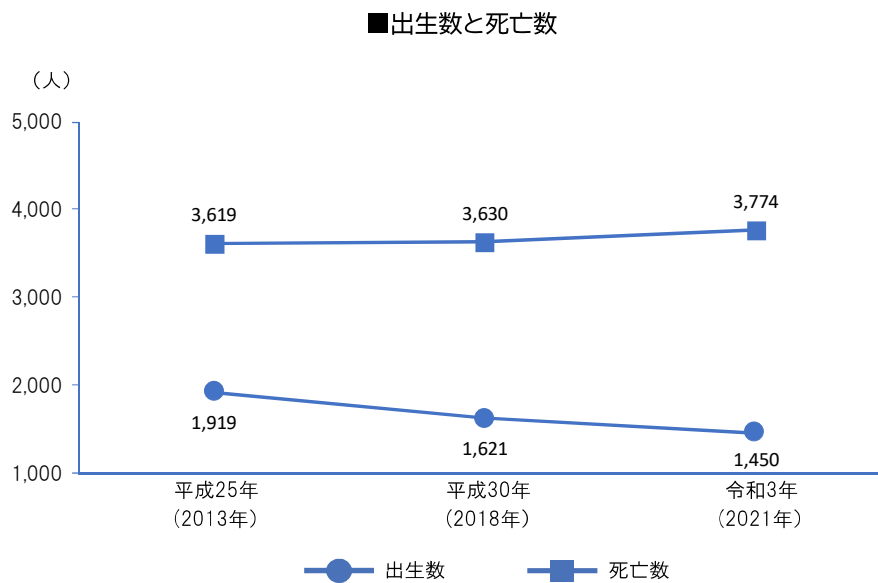
令和2年と平成22年を比較すると、世帯数は2,361世帯の減少となっています。

令和2年の世帯数における単身世帯の割合は、平成22年の割合よりも5.3ポイント高くなっています。



(3) 自然動態—出生数・死亡数の推移—

令和3年と平成25年を比較すると出生数は469人減少しています。死亡数は155人の増加となっています。

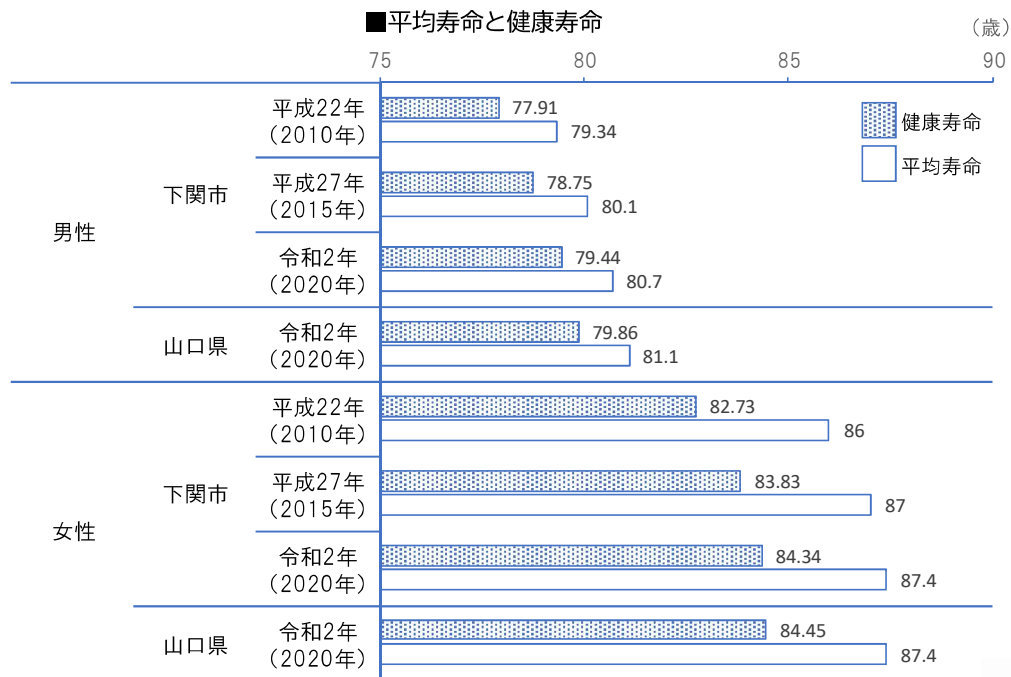


2 健康に関する状況

(1) 平均寿命と健康寿命(日常生活動作が自立している期間の平均)[※]

下関市の令和2年の健康寿命をみると、男性は79.44歳、女性は84.34歳となっており、平均寿命との差は男性で1.26年、女性で3.06年となっています。

平成22年から令和2年までの健康寿命の差をみると、男性は1.53年、女性は1.61年伸びています。同じく平均寿命の差については、男性は1.36年、女性は1.4年伸びています。



資料：山口県健康増進課



※健康寿命とは

健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のことを言います。

その期間を算定する方法が複数あります。

- ①介護保険事業における要支援・要介護者のデータを基に算定した【日常生活動作が自立している期間の平均】(介護保険の要支援1・要支援2・要介護1までの人を「健康」とする)
- ②国民生活基礎調査(アンケート)を基に算定した【日常生活に制限のない期間の平均】

などがあります。

本計画では、下関市のデータが確認できる①の【日常生活動作が自立している期間の平均】を掲載しています。

[参考：健康寿命と平均寿命(全国)]

算定方法① 健康寿命：男性79.9歳 女性84.2歳(令和元年統計情報分)
平均寿命：男性81.5歳 女性87.5歳(令和元年統計情報分)

出典：公益社団法人 国民健康保険中央会「平均自立期間」

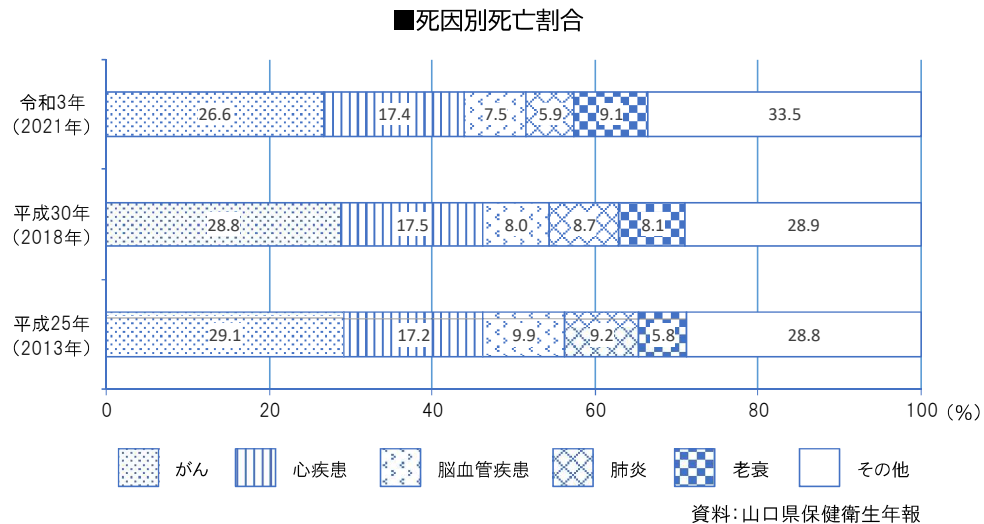
算定方法② 健康寿命：男性72.68歳 女性75.38歳(令和元年度)
平均寿命：男性81.41歳 女性87.45歳(令和元年度)

出典：令和4年度版 厚生労働白書

(2) 死亡の状況

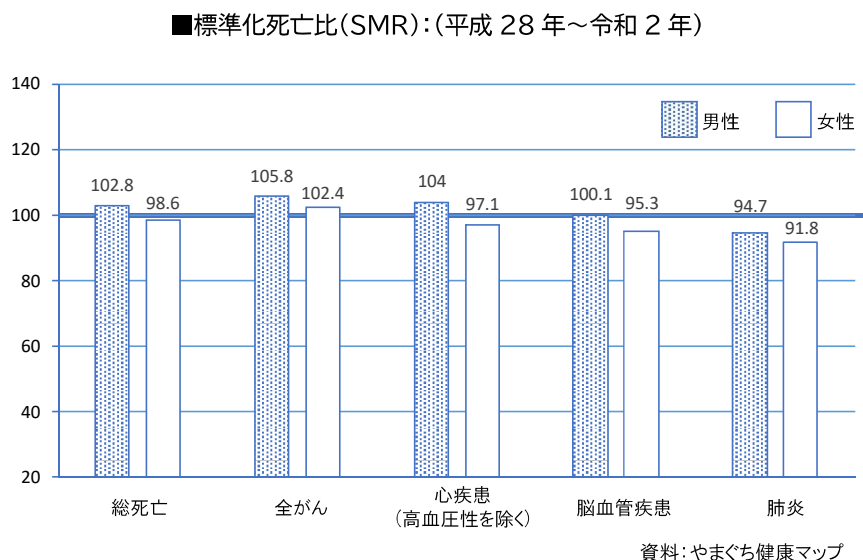
ア. 死因別死亡割合

下関市の死因の割合は、がん・心疾患・脳血管疾患の 3 大生活習慣病が、死因の 5 割強を占めています。令和 3 年と平成 25 年を比較すると、がんは 2.5 ポイント、脳血管疾患は 2.4 ポイント、肺炎は 3.3 ポイントの減少となっています。また、心疾患は 0.2 ポイント、老衰は 3.3 ポイントの増加となっています。



イ. 標準化死亡比(SMR)[※]

標準化死亡比でみると、男性は「総死亡」、「全がん」、「心疾患(高血圧性を除く)」、「脳血管疾患」で 100 を超えており、山口県平均よりも死亡率が高くなっています。また、女性は「全がん」のみが 100 を超えています。



※標準化死亡比 (SMR) とは

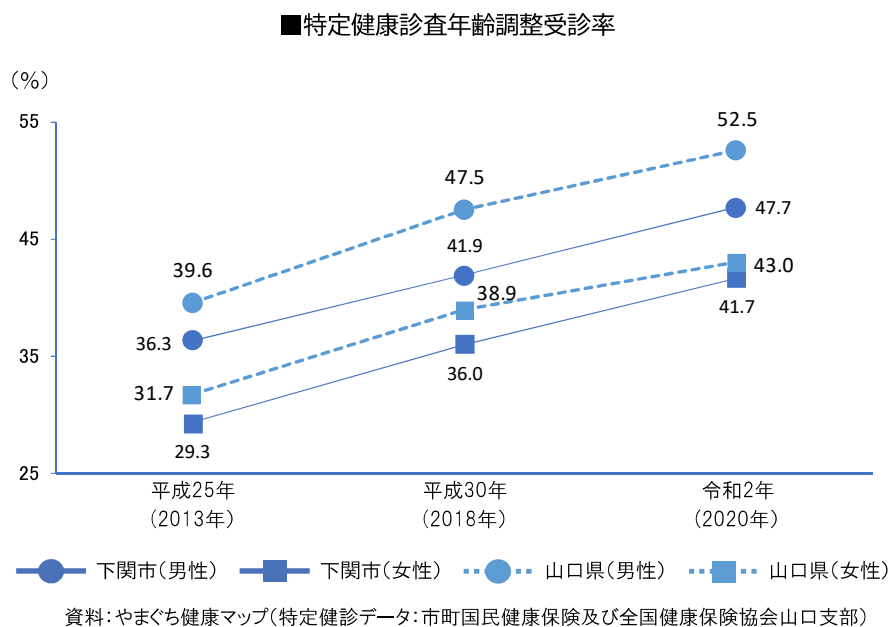
年齢構成の異なる地域間で死亡状況を比較するために用いる指標で、年齢構成の差異を基準の死亡率で調整した死亡数に対する現実の死亡数の比です。

(3) 健診・検診に関する状況

ア. 特定健康診査の受診状況

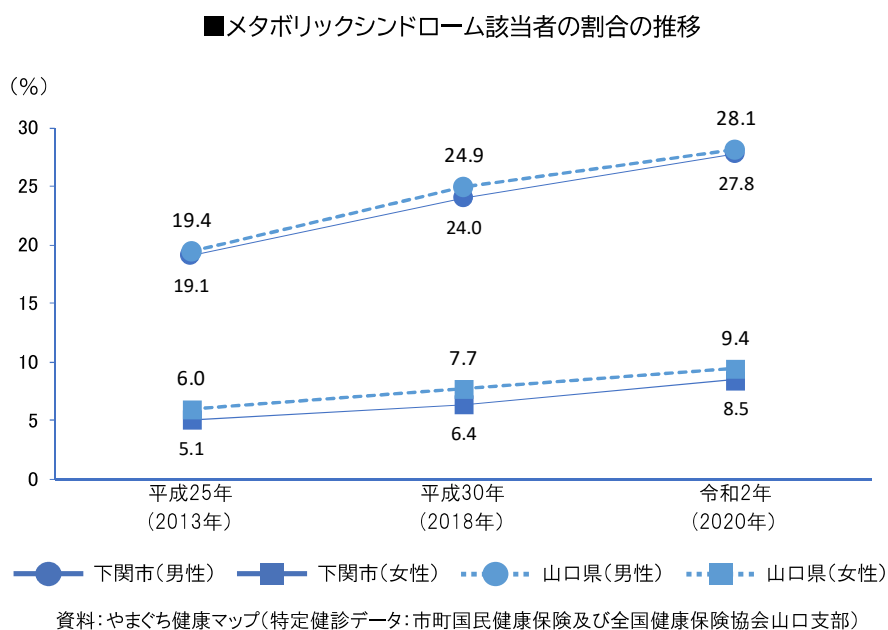
① 特定健康診査年齢調整受診率

特定健康診査受診率は、男女とも山口県の平均よりも低くなっていますが、令和 2 年の受診率は平成 25 年に比べ、男女とも高くなっています。

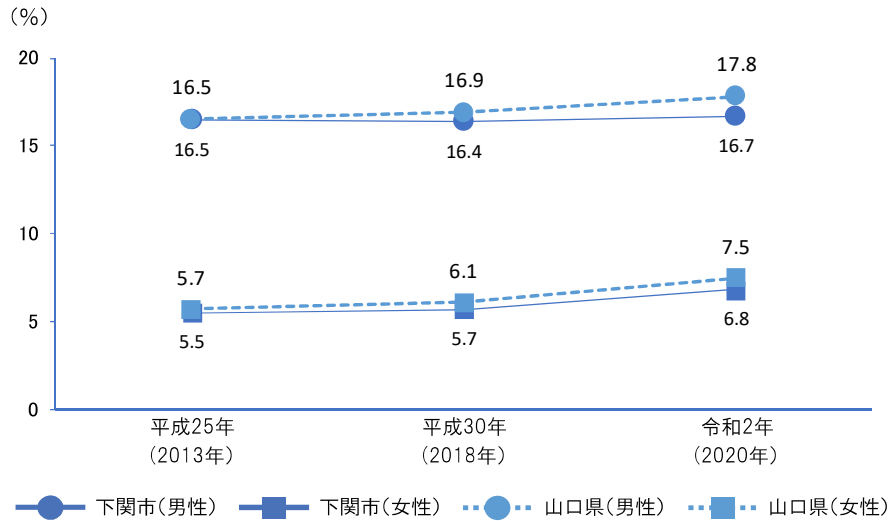


② メタボリックシンドロームの該当者・予備群

メタボリックシンドロームの該当者と予備群は、男女とも山口県の平均と同値もしくはわずかに下回っています。しかし、山口県と同様、下関市もメタボリックシンドロームの該当者と予備群は、増加傾向にあります。



■メタボリックシンドローム予備群の割合の推移

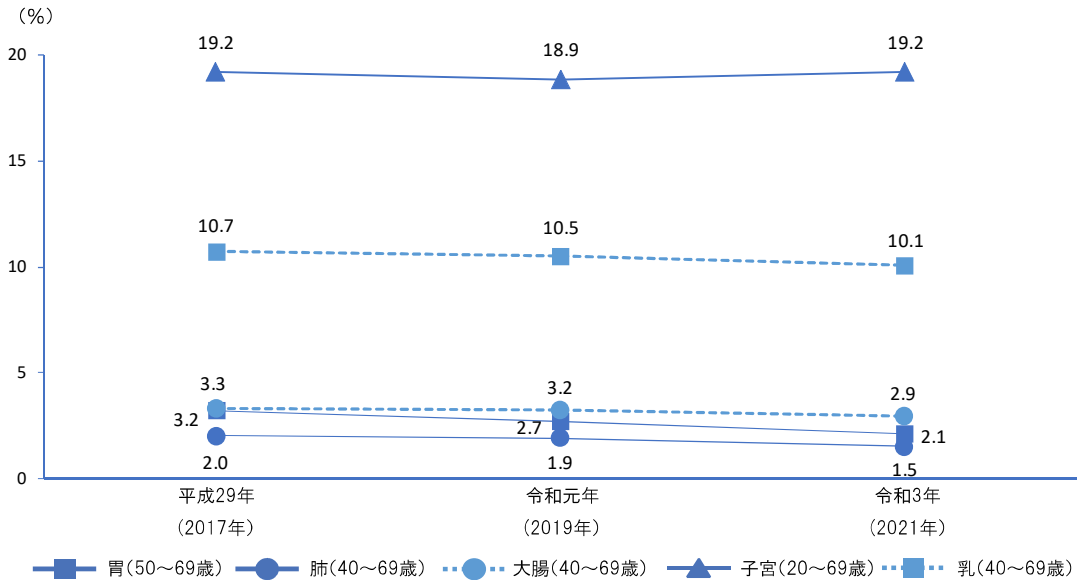


資料：やまぐち健康マップ(特定健診データ：市町国民健康保険及び全国健康保険協会山口支部)

イ. がん検診の受診状況ー市が実施するがん検診ー

市が実施するがん検診は、「職場等で検診を受診する機会のない方」を対象としています。女性特有のがん検診(乳がん・子宮がん)は他のがん検診に比べて、受診率が高くなっています。

■各種がん検診の受診率



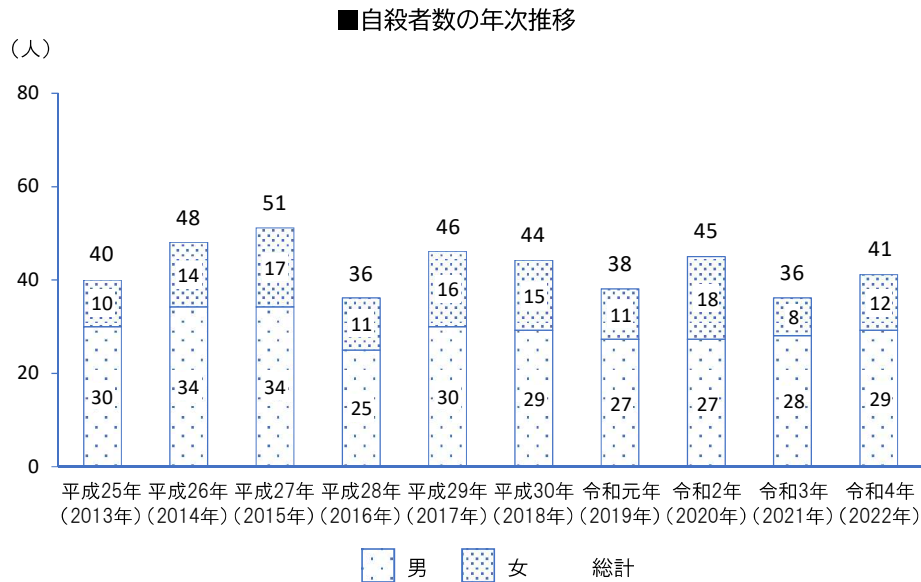
資料：地域保健・健康増進事業報告

(4) こころの健康に関連する状況

ア.自殺者の状況

① 自殺者数の推移

下関市における自殺者数は、平成25年から令和4年の10年間の合計で、男性293人、女性132人、合計で425人となっており、自殺者に占める約70%が男性となっています。



② 自殺者の年齢階層別割合(平成25年～令和4年)

年代別では、60歳代が一番多く、次いで40歳代となっています。40～60歳代の年代で全体の約50%を占めています。

